

SCHOOL DATA

〒261-0005 千葉市美浜区稲毛海岸5-7-1  
 TEL.043-243-7120 FAX.043-244-6917  
 ■児童数/209人 ■教職員数/18人 ■周辺環境/住宅地 (平成20年5月1日現在)



いのちの森の案内板



いのちの森

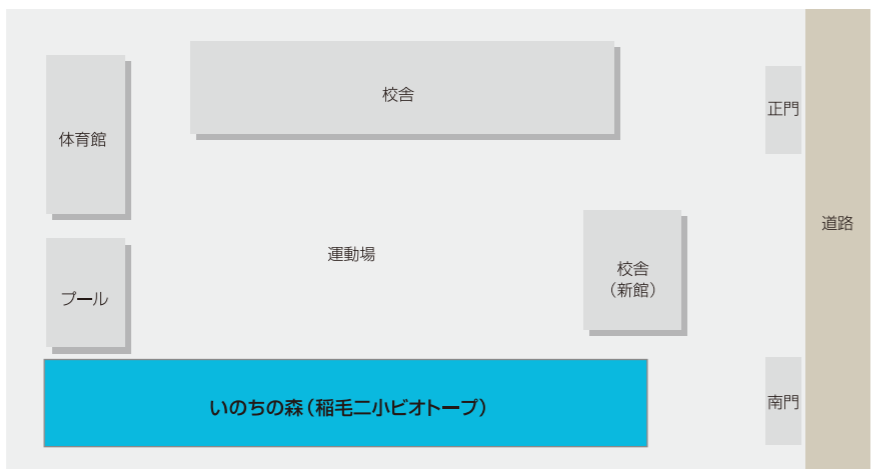
## ビオトープの概要

- 場所/学校敷地内
- 面積/400㎡
- 設置者/学校
- 設置した年/1999年
- 直近の改修年/2008年  
(毎年改修を行っている)
- 主な管理者/教職員  
緑化委員会の児童  
グループ2000(環境に学ぶ)

## <コンセプト>

ビオトープは、泉、小川(約30m)、池(約40㎡)を含む雑木林「いのちの森」(約300㎡)、田んぼ(約50㎡)、原っぱ(約50㎡)で構成され、森の中には、散策路、観察用の椅子、テーブル、空中デッキ、ツリーハウスがある。

児童が、野生の生き物に触れ合うことにより、自然の仕組みを理解し、心豊かでやさしい子が育つことを期待している。また、身近な自然体験を通して自然の大切さに気づき、広く自然保護・再生の活動ができる人材を育成する。



## 生息している生物

<池>  
 動物:ヘイケボタル、メダカ、ドジョウ、ツチガエル、ニホンアカガエル、シマヘビ、ルリボシヤンマ、アジアイトトンボ、アキアカネ、ギンヤンマ等

<森>  
 植物:イヌシデ、コナラ、クヌギ、スダジイ、シュンラン等  
 動物:シジュウカラ、メジロ、ジョウビタキ、クロアゲハ、アオスジアゲハ等

## 今後生息させたい生物

アマガエルを呼びたい。  
 4年前にオニヤンマが羽化したことがあるので、小川をもう少し開放的にして毎年見られるようにしたい。



水田の代掻き(宝探し)



観察会

## ビオトープの活用方法

- 児童  
3年生から6年生の総合的な学習等で、活用している。
- 保護者、地域住民  
「いのちの森の日」(毎月1回)に、ビオトープの観察会を行うと共に、日本の歳時記と関連付け、日本文化についても学ぶ地域交流の場、青少年の健全育成の場となっている。

## ビオトープの効果

- 児童への効果  
生物と生息環境を観察することにより、自然の仕組みなどについて理解を深め、環境保全についての意識を高める。また、日常的に生物に触れ合うことにより、命の大切さを理解し、心優しい子が育つ。  
地域に愛着を持ち、地域に誇りを持てるようになる。
- 教職員への効果  
児童との意思の疎通がより取りやすくなった。  
理科、総合学習の教材として、効果的に活用することができる。
- 保護者、地域住民への効果  
「いのちの森の日」の活動により自然環境に触れ合う機会を提供するとともに、学校への理解も促進していくことができる。

## 保護者、地域との連携

- 保護者  
森の枝打ち、下草刈り、散策路の整備を行ってもらっている。
- 自治会、町会  
田んぼ作りで、名人さんとして招き、子どもころの自然や地域について話してもらっている。
- 稲浜公民館  
「いのちの森の日」の主催者。
- グループ2000(環境に学ぶ)  
いのちの森の維持管理を行うと共に、「いのちの森の日」を運営している。

## 整備・活用・管理等の課題

- ヘイケボタルが生息しているため、池の浚渫をためらってきたが、今年度は是非行いたい。
- 田んぼにもホタルが生息するようになったので、田んぼ周りの整備も進めたい。
- ソーラーシステムを導入したい。
- 地域や保護者との連携を含めて、管理体制作りを進めていきたい。

## 今後の展望

- 埋立地であるこの地域にあって、貴重な自然環境としてその質を維持し、児童ばかりでなく地域の人にとっても環境学習や憩いの場になるようにしていきたい。
- 近郊の里山との連携を模索したい。



いのちの森の一年(季節を感じる・一年の変化を振り返る)